

事業名	山梨県スポーツ顕彰事業費		
細事業名	やまなしスポーツ顕彰事業費	財務コード	370201
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康 課	競技スポーツ 担当 (内線) 8431

事業の概要

実施期間	始期 H8 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(直営)			
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に 県関係のスポーツ競技者・団体及び指導者</td> <td>その対象をどのような状態にして スポーツの国際大会及び全国大会等においての優秀な成績を講えることにより、競技者及び指導者の励みとなっている</td> <td>結果、何に結びつけるのか 本県スポーツの競技力向上やスポーツの普及振興</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に 県関係のスポーツ競技者・団体及び指導者	その対象をどのような状態にして スポーツの国際大会及び全国大会等においての優秀な成績を講えることにより、競技者及び指導者の励みとなっている	結果、何に結びつけるのか 本県スポーツの競技力向上やスポーツの普及振興
だれ(何)を対象に 県関係のスポーツ競技者・団体及び指導者	その対象をどのような状態にして スポーツの国際大会及び全国大会等においての優秀な成績を講えることにより、競技者及び指導者の励みとなっている	結果、何に結びつけるのか 本県スポーツの競技力向上やスポーツの普及振興		
事業の内容 主にH25年度	<p>事業概要: 功績を講え、年1回、知事から賞状及び記念品の授与 表彰基準:</p> <p>(1) オリンピック大会に入賞(8位以内)した個人(団体チームの一員も含む。) (2) パラリンピック大会に入賞(8位以内)した個人(団体チームの一員も含む。) (3) 権威のある国際競技大会(世界選手権大会、アジア競技大会、ユニバシアード大会)において上位(3位以内)に入賞した個人(団体チームの一員も含む。) (4) 全日本選手権大会、国民体育大会、全日本大学生選手権大会、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会及び特に知事が認める大会において優勝した個人及び団体 (5) スポーツ競技会において、公認日本記録を樹立した個人及び団体 (6) 優秀なスポーツ選手の育成・指導に功績のあったと認められる次の者 ア) オリンピック大会、世界選手権大会、アジア競技大会、ユニバシアード大会の種目別監督 イ) 国民体育大会、全日本大学生選手権大会、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会の大会で個人は3年連続、団体は3回、優勝させた監督又は主たる指導者 選考審査委員: (公財)県体育協会専務理事、県高等学校体育連盟会長、県小中学校体育連盟会長、NHK甲府放送局放送部長、山梨日日新聞社運動部長、山梨放送スポーツ報道制作部副部長、テレビ山梨報道部長、県教育委員会教育次長、県教育委員会スポーツ健康課課長</p>			
根拠法令等	スポーツ基本法、やまなしスポーツ賞表彰要綱			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	24年度		25年度		26年度	27年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値		
活動指標	表彰件数	団体6(33名) 個人31名 指導者0名 計37件	団体6(33名) 個人31名 指導者0名 計37件	団体3(32名) 個人30名 指導者1名 計34件	団体6(33名) 個人31名 指導者0名 計37件	団体6(33名) 個人31名 指導者0名 計37件	活動指標 目標設定の考え方 前年度実績を参考にし目標値とした。 データの出典等 やまなしスポーツ賞 受賞者の経緯	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	91.9 %						
成果指標	成果指標達成率 (実績値/目標値)	%						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	決算額又は予算額 (千円) うち-財額	380 380	380	380	380	380	380	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	200 時間		200 時間		200 時間	200 時間	表彰された選手・指導者の励みになっているとともに、マスコミや各競技団体等を通じて広く県民に周知されることにより、スポーツに関する意識を高揚を図り、スポーツの普及や振興に寄与できる。	
所要時間(間接分)	時間		時間		時間	時間		
所要時間計	200 時間		200 時間		200 時間	200 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	410		410		410	410		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成25年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H25年度活動指標の達成率			
b	b		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記載すること
H25年度成果指標の達成率			
	b		この事業については、平成8年度から実施しており広く普及・定着してきている。この賞は、本県スポーツ界において知事から直接表彰を受けることのできる唯一の賞であることもあり、表彰された選手・指導者の励みとなっている。また、マスコミや各競技団体等を通じて受賞者や本事業が広く周知されることにより、受賞者はもとより、本県においてスポーツに関わる全ての者の意欲を喚起している。その結果として、スポーツの普及や振興に寄与するだけでなく、競技力の向上にもつながっていると考えられ、意図した成果はほぼ上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成27年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	県外からの受賞者もいることから甲府駅周辺で実施してきた経緯がある。表彰式会場を防災新館1階「イベントホール」とすることで経費を削減するとともに、人目に付きやすい会場で実施することにより、知名度の向上による意欲喚起や本事業の更なる周知につながる事が考えられる。	1

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成27年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等	「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	知名度の向上による意欲喚起や本事業のさらなる周知につなげるため、表彰式会場を甲府駅周辺のホテルから防災新館1階「イベントホール」として計画を進める。	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること